

介護事業経営者はどのような組織をつくるべきか

組織マネジメントに関する研究

キーワード1 組織マネジメント

キーワード2 理想ベクトル

キーワード3 品質管理

茨城県 水戸市 有限会社 アンビション (グループホームあすなる)

有限会社アンビション 代表取締役

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 修士課程2年 川田 英治

有限会社アンビション 訪問介護、通所介護、グループホーム、短期入所生活介護

(取り組んだ課題・はじめに)

平成12年より介護保険法が施行され、多種にわたる事業者が介護事業に参入してきた。しかしながら、高齢者への虐待や暴力の問題、火災等の防災対策の問題、介護報酬の不正・過大請求等多数の問題が発生している。それは一見、個人や組織の一部が起こした問題とされるが、多くの場合、事業組織のあり方の問題が内在している。組織マネジメントにより管理され、組織が本来持っている抑止力という効果が発揮されていたなら、多くの問題は未然に防ぐことが出来たと考える。従業員の望む働きやすい職場や組織とはどのようなものか組織なのか。それはより質の高い介護事業所の実現と考える。では、従業員の望む組織とはどのような組織か研究したい。

(研究内容)

事業主が行なってきた組織マネジメントを、従業員はどう評価し、どのように考えているのか、アンケート調査を実施した。

アンケート調査は無記名とし、対象者の内訳は下記となる。最終有効回答数はN=21となった。

1：性別 男性7名、女性14名

2；資格 看護師1名：社会福祉士1名：介

護福祉士6名：ヘルパー2級13名

3：平均年齢36歳

<目標>

JUMPによる選好回帰分析によって次の点を明確にすることを目標とした。

1 主成分分析による従業員による事業主の組織マネジメントの個別評価

2 発見された主成分の軸の解釈をすること。

3 価値基準の把握により、従業員が理想とする組織のベクトルはどこに向いているのか発見する。以上により、今後の組織マネジメントの最善策を検討する。

<得られた選好回帰式>

選好回帰式 $Y = \text{重要度1} : 0.71 + \text{重要度2} : 0.29$ となった。

(今後の課題・考察・まとめ)

理想ベクトルが示す従業員が評価する組織対策

主成分1 (従業員の満足度)対策
研修等の個人のスキルの支援体制
報奨制度の充実

主成分2 (コミュニケーションに関する)対策
ビデオやスライド等のコミュニケーションツールの拡充
上司の面談・相談の機会を増やす。

さらに介護の質を上げる組織を目指す